

[開園時間]

| 期 間 | 無料区域 | 有料区域 |
|---------------|------------|------------|
| 4月～6月、10月～11月 | 8:00～19:30 | 8:30～19:00 |
| 7月～9月 | 8:00～20:30 | 8:30～20:00 |
| 12月～3月 | 8:00～18:30 | 8:30～18:00 |

10～12月:東のアザナからの夕景は17時半～18時頃がオススメです。
 ※ 入場券販売締切は閉場時間の30分前

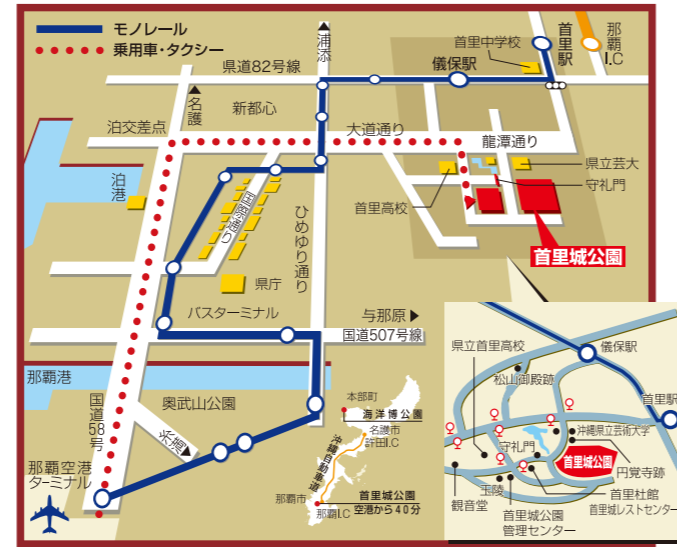
[休場日] 7月の第一水曜日とその翌日

[入場料金]

| | 大人 | 中人(高校生) | 小人(小・中学生) |
|---------|--------|---------|-----------|
| 一般料金 | 830円 | 630円 | 310円 |
| 団体料金 | 670円 | 490円 | 250円 |
| 年間パスポート | 1,660円 | 1,260円 | 620円 |

- ・首里杜館の自動券売機でも入場券の購入ができます。
- ・団体は20名様以上
- ・モノレール(ゆいレール)のフリー乗車券(一日券・二日券)をご利用中のお客様は、首里城公園券売所窓口にて乗車券の提示により、団体料金の適用となります。
- ※ フリー乗車券の有効期限内において、一枚につきお一人様一回限りの割引となります。

[アクセス]



※ 駐車場に限りがありますので、バス、タクシー、モノレール等の公共交通機関をご利用ください。

お得! 首里城公園年間パスポート

入場料2回分の料金で、1年間何度でも入場できるお得なパスポート。

- 更新特典
- ① 首里城公園直営売店のオリジナル商品がパスポート提示で10%割引!!
 - ② 抽選で1万円分の商品券を進呈!



海洋博公園のご案内

新海獣プログラム!
イルカ・ウミガメ・マナティー

10月から新たに3種の有料プログラム開始!イルカやマナティーに大接近。ウミガメに餌やり体験もできます。参加条件、受付など詳しくは水族館HPへ。



日付 令和元年 10月1日(火)～
 時間 詳細は沖縄美ら海水族館のHPをご確認ください
 場所 海獣飼育施設およびその周辺
 料金 イルカ体験学習/1000円 ウミガメ給餌体験/500円 マナティー体験学習/1000円

ブーゲンビレア・ハイビスカスフェア

ブーゲンビレアに囲まれた、色鮮やかなフォトスポットが登場。ハイビスカスは直径20cmの大輪系から直径3cm程の小輪系まで様々な種類を展示。



日付 令和元年 10月12日(土)～12月15日(日)
 時間 8:30～17:30(入館締切 17:00)
 場所 熱帯ドリームセンター
 料金 入館料のみ 大人:760円、中学生以下無料

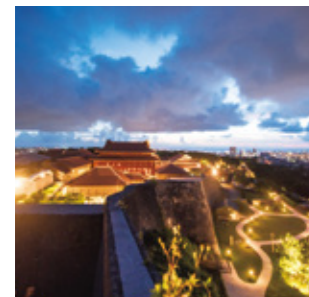
第41回海洋博公園
全国トリムマラソン大会

参加者募集中!
2020.1/19日



※定員に達し次第、募集を締め切ります。

海洋博公園トリムマラソン 検索



題字: 御城だより

御城(ウグシク)とは首里城の敬称。首里では今でも親しみを込め、この呼び方が使われています。

表紙: 東のアザナから見るライトアップ

日暮れと共に点灯される園内のライトアップは、幻想的な雰囲気を出しています。城内一の高台からの眺めをお楽しみください。

御城だより Vol.9 秋号 季刊誌

〒903-0815 沖縄県那覇市首里金城町1-2
 TEL: 098-886-2020

[発行日] 2019年10月

[編集・発行] 国営沖縄記念公園(首里城地区)、県営首里城公園
 指定管理者 一般財団法人 沖縄美ら島財団

URL <http://oki-park.jp/shurijo/>

御城だより
UGUSHIKUDAYORI

2019
10

首里城祭
琉球王国時代の風が吹く
令和元年度

首里城公園企画展

御座楽～献上された琉球楽器～
首里城跡出土品展

鎖之間琉球伝統菓子の冬瓜漬ときっぱんが登場!

新発売! ふろしき組踊

Co|umn

納められた泡盛が貯蔵された場所～銭蔵～

SHURIJO CASTLE FESTIVAL 2019

首里城祭

令和元年度

琉球王国の華やかな姿が一大絵巻行列として再現される「琉球王朝絵巻行列」や、幻想的な灯りに包まれる「万国津梁の灯火」など、琉球王国文化を堪能していただけるイベントです。

琉球王国時代の風が吹く



世界に誇る伝統文化 空手の日記念演武祭

(主催: 沖縄県、沖縄県議会、沖縄伝統空手道振興会)

実施日 2019年 10月27日(日)
場所 那覇市国際通り
料金 無料 時間 15時30分～17時30分



首里城で育まれた華やかな琉球舞踊 伝統芸能特別公演

(主催: 首里城祭実行委員会)

実施日 2019年 10月27日(日)～11月 3日(日)
時間 ■伝統芸能 10/27(日)～11/1(金) 11時00分～16時30分 (各回30分程度)
■伝統芸能、地域芸能 11/2(土)・3日(日) 11時00分～17時30分 (各回30分程度)
場所 首里城公園 世詩殿 料金 無料(※要入場料)



国王・王妃への謁見 国王・王妃出御

(主催: 首里城祭実行委員会)

実施日 2019年 11月1日(金)
時間 ①10時30分 ②13時30分 ③15時30分
場所 首里城公園 御庭 (各回20分程度)
料金 無料(※要入場料)



首里城発祥の泡盛文化の魅力に触れる 「琉球泡盛の粋」in 銭蔵

(共催: 沖縄県酒造組合、首里城公園)

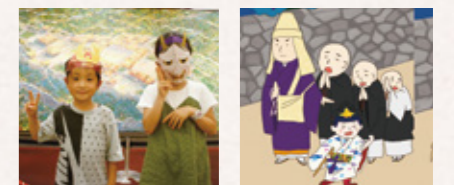
実施日 2019年 11月1日(金)～3日(日)
時間 10時00分～16時00分
場所 首里城公園 銭蔵、首里杜館
料金 無料



組踊初演から300年 組踊300周年記念 首里城公演 ・式典「琉球舞踊と組踊」

(主催: 組踊上演300周年記念事業実行委員会)

実施日 2019年 11月2日(土)～11月 3日(日)
時間 18時00分～21時00分 場所 首里城公園 御庭
料金 無料(※要入場料)



鬼や阿麻和利を作ってたりきろう 組踊ペーパークラフト 組踊の魅力を発見 組踊まちがい探し

(主催: 首里城祭実行委員会)

実施日 2019年 10月27日(日)～11月 3日(日)
時間 10時00分～17時00分
場所 首里城公園 糸図座・用物座
料金 無料



目の前に広がる 豪華絢爛、 琉球歴史浪漫

琉球国王・王妃の行列をはじめ伝統芸能団などがつづき、総勢700名による壮大な琉球の歴史物語が繰り広げられます。

琉球王朝 絵巻行列

りゅうきゅうおうちょう えまきぎょうれつ

実施日 2019年 10月27日(日)
時間 12時30分～14時30分
場所 那覇市国際通り
(交通規制時間: 12時00分～15時00分)
料金 無料
(主催: 首里城祭実行委員会)

琉球王朝祭り首里 「古式行列」

こしきぎょうれつ

「古式行列」は琉球国王の行幸の一つ、正月三日「初行幸」と呼ばれる三ヶ寺(円覚寺、天王寺、天界寺)参詣行幸の行列を再現したものです。琉球王国時代、国王が国家の安寧と五穀豊穡を祈願するための参詣の様子をお楽しみください。

実施日 2019年 11月3日(日)
時間 12時40分～15時20分 料金 無料
場所 首里城公園～守礼門～龍潭通り
(主催: 首里振興会)



万国津梁の灯火

夜の首里城公園を多数のキャンドルが彩る幻想的な世界

実施日 2019年 11月2日(土)～11月3日(日)
時間 17時00分～21時30分
場所 首里城公園 園路
料金 無料
(主催: 首里城祭実行委員会)



琉球王国の儀式や 宴席を彩る御座楽

琉球王国時代、音楽は王府の儀式や宴席に欠かせないものでした。主に室内で座って演奏を行う御座楽(うざがく)と、行列で移動する際に演奏される路地楽(ろじがく)があります。これらの音楽は楽器とともに、14世紀に中国から伝わったとされています。

往時の正月儀式では、首里城の御庭に御座楽の楽器一式を飾り、早朝の御座楽の演奏により新年の幕開けが告げられていました。このような首里城での儀式だけでなく、中国からの使者を迎えた歓待の宴の際にも御座楽の演奏は行われていました。また、琉球国王や徳川将軍の代替わりに行われる江戸立(江戸上り)で、道中、路地楽が演奏されている様子や、江戸城や江戸の薩摩屋敷で御座楽



リゅうきゅうじゅんぶがくのず
『琉球人舞楽之図』

が演奏されている様子を絵図に見ることができます。

現代に伝わる絵図によく描かれているのは、楽童子(がくどうじ)や楽師(がくし)が演奏する姿です。楽童子とは、江戸立にあたって士族の子弟から選ばれた容姿端麗な15~18歳の少年で、江戸に派遣される前には士族としての教養と共に、踊りや楽器の演奏についても修得していました。『琉球人舞楽之図』では、楽童子たちが三線や笛、銅鑼(トンロウ)等を鳴らし、踊りを舞う姿が描かれています。この楽童子に混じって、右はじで哨唎(ツヨナ)を吹いているのは楽師です。哨唎は御座楽の演奏の要となる楽器であるため、高い奏力を持ち経験も豊富な楽師が担う楽器でした。

廃藩置県後、御座楽は伝承の場を失い、さらに太平洋戦争によって楽器や楽譜等も失われてしまいました。しかしながら、愛知県の尾張徳川家と茨城県の水戸徳川家には、献上された琉球楽器が残されており、一般財団法人沖縄美ら島財団では2001年から2006年にかけて徳

川美術館の協力のもと、調査研究を重ね、琉球楽器一式の模造復元制作を行っています。また首里城公園では、お正月のイベント「新春の宴」の中で御座楽が演奏されています。

リゅうきゅうがくき
琉球楽器(復元)



ツヨナ
哨唎

リョウハン
両班

ショウタンロウ
小銅鑼



出土品から見る琉球王国の対外交流

首里城の復元整備にともない、1980年代よりこれまで発掘調査が行われてきました。首里城は、450年におよぶ琉球王国の政治の中核であり、王国時代の文化を生み出し、中国からの使者を歓待するなど外交の中心でした。朝貢先の中国や、1609年の薩摩侵攻前後の日本との交流の歴史を示す出土品などが数多く発見されています。

首里城から出土した資料をとおして、琉球と中国や日本、朝鮮、東南アジアなどとの交流の歴史が垣間見えてきます。

例えば、東のアザナなどから日本産焼物の茶器が出土しており、日本の茶湯文化の受容の一端が窺えます。また、青緑色が特徴の青磁や、白地に青色の絵付が映える青花磁器など中国の官窯の陶磁器片が出土されており、東アジアで珍重された物がもたらされたことがわかります。

そのほか日本の武具や、梵鐘の破片



はりゅうせんきょうそうおよ きとうせん ず
『爬龍船競漕及び帰唐船の図』

など様々な品々が発掘されています。

ところで、来年は首里城跡が「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の一つとしてユネスコの世界遺産に登録されてから20周年を迎えます。その節目の年を迎えるにあたり、琉球王国の対外交流と繁栄を伝える出土品に目を向け、前代の人々の営みによって生み出された所産に想いを致してみたいかがでしょうか。



せいかにき
首里城跡正殿地区より発掘された青花磁器
(沖縄県立埋蔵文化財センター)



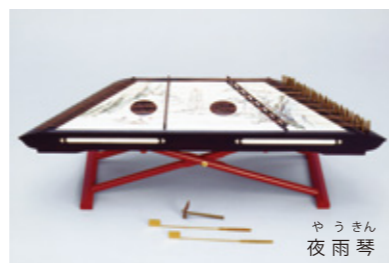
せいかにき
首里城跡正殿地区より発掘された青磁器
(沖縄県立埋蔵文化財センター)

【首里城公園企画展】

御座楽～献上された琉球楽器～

会期 2019年11月8日(金)～2020年1月30日(木)

場所 南殿2階特別展示室



やうきん
夜雨琴

【琉球王国のグスク及び関連遺産群世界遺産登録20周年記念企画展】

「首里城跡出土品」展

会期 2019年11月15日(金)～2020年2月6日(木)

場所 黄金御殿特別展示室 ※ 会期中、一部展示替えがあります。



ほんしょうはへん
梵鐘破片(沖縄県立埋蔵文化財センター)

鎖之間の琉球菓子に伝統銘菓の 冬瓜漬ときつぱんが登場！

「鎖之間」は琉球王国時代、王子たちの控所であり懇談の間でもありました。平成19年には有料体験施設として開設し、王国時代の伝統菓子とお茶を味わいながら、往時の雰囲気をお楽しみ頂ける場として好評をいただいております。

この度、「鎖之間」の琉球菓子は「ちんすこう」「花ぼうる」「くんぺん」「ちいるんこう」の4種類に加え、「冬瓜漬(とうがづけ)」「きつぱん」を追加して6種類になりました。

冬瓜漬、きつぱんは、琉球王国時代には、中国からの使者が来琉した際の饗応料理「御冠船(うかんしん)料理」など特別な場で振る舞われたり、贈答品として用いられたりしました。一般の人が口にできるようになったのは明治以降のことです。

「冬瓜漬」は、野菜を材料にした珍しい菓子で、砂糖でじっくりと煮詰めるため大変甘く、小さく切っていただきます。口の中に広がる優しくほのかな香りをお楽しみください。「きつぱん」は、柑橘類を砂糖で煮詰めた、古い歴史を持つ手の込んだ伝統菓子です。

新たに加えたこれらの琉球菓子は、現在は提供している店も少ない貴重なものです。「鎖之間」のホスピタリティーを高め、古のおもてなし菓子をご用意いたしました。お菓子の種類が増えたことで、解説もより充実した内容となっています。日常を離れた休息の場所として、ぜひ新しくなった鎖之間へお越しください。



お知らせ
 今般の琉球菓子メニュー追加等に伴い、令和元年9月1日よりサービス価格の改定を行っております。

| 旧価格 | 新価格 |
|------|------|
| 310円 | 500円 |

新発売！「ふろしき組踊」

2019年は沖縄が誇る伝統芸能「組踊」上演300年の節目にあたります。(一財)沖縄美ら島財団では、組踊のさらなる発展や文化継承に寄与するため、職員から募集した商品企画を元に、オリジナル商品「ふろしき組踊」を開発しました。

デザインは、勇壮な阿麻和利と、玉城朝薫の有名な五演目をモチーフにした“うちくい”風の色鮮やかな2種類。

生地は高級感のある”ちりめん”風で、ご訪問の際にお土産を包むと華やかで、話題になること間違いなし！ご家庭で洗濯ができるため、日常使いにも大変おすすすめな逸品です。

価格 / 2,000円(税込)
 サイズ / 65cm×65cm
 種類 / 全2種 (①阿麻和利 ②うちくい風)
 販売場所 / 首里城公園(ミュージアムショップ球陽)、おきみゅーほか



① 阿麻和利



② うちくい

首里城コラム Column

納められた泡盛が貯蔵された場所〜銭蔵〜

約500年もの歴史を持ち、沖縄を代表する蒸留酒が泡盛です。特に琉球王国時代、泡盛は首里城の東側に隣接する崎山・赤田・鳥小堀(現鳥堀)の「首里三箇」と呼ばれる地域で盛んに醸造され、いわゆる「御用酒」として首里王府に納められました。泡盛は、首里城内の儀礼や年中行事の場で用いられ、中国や薩摩への献上品などにも用いられました。

そして、泡盛と首里城の関係を語る上で欠かすことが出来ない存在の一つが、泡盛を収蔵した「銭蔵(ぜにくら/ジングラ)」です。実は、銭蔵は貯蔵するものによって呼称の変遷があります。「おもろさうし」から古くは酒のことを「ぜに」「ぜん」「ぜ」と表記していたことが確認されています。

1713(康熙五十二年)年に編纂された『琉球国由来記』から、「銭御蔵」は銭や焼酎(泡盛)、「同古酒(泡盛の古酒)」のほか様々な日用品を扱っていたことが窺えます。銭蔵の「じん」の音に「銭」の字を当てたため銭が収蔵されたと考えられています。「銭」と言えばいわゆる金目のものですが、一方で金銀を初めとする金製品や嗜好品、高価な品を収蔵していた「黄金御蔵」もあり、世諦殿の後方にあります。



世諦殿の後方に表面表示のかたちで再現された「金蔵跡」



「銭蔵跡」の上に築かれたパーゴラ形式の休憩施設

1749(乾隆十四年)中国・日本・宮古八重山の公用物を管理する「御用物座」の公務が繁多となったため、「銭御蔵(旧黄金御蔵)からの人員の移動と管理品の変更が行われました。この時に、「銀銭」の管理が「御用酒蔵(旧銭蔵)に移されて呼称を「銭御蔵」と元に戻しています(『球陽附巻』)。結局「御用酒御蔵」の呼称は定着しませんでした。が、銭蔵では以後も首里三箇から上納された泡盛が管理されました。

現在、首里城公園北側の内郭と外郭の間、久慶門の近くにパーゴラ形式の休憩施設があり、この場所に「銭蔵」はありました。高床風の二階建て造りであったと想定されますが、資料が乏しく信憑性の高い復元が困難なため、建物の輪郭を平面的に表示しています。

建物の外観は詳細不明なままですが、旧跡とその周辺の景観に触れることで、王国時代の琉球への扉を開きつかけになれば幸いです。

今回、首里城祭においてこの場所で「琉球泡盛の粋」In銭蔵が開催(11/1〜3)されますので、ぜひ足をお運びください。

information

首里城で迎える初春の慶び

新春の宴

しんしゅんのうたげ

2020年1月1日(水)～1月2日(木)

| | |
|----|------------|
| 場所 | 御庭ほか |
| 時間 | 8:30～17:00 |
| 料金 | 有料区域は要入場料 |

琉球王国時代の元旦に首里城で執り行われた儀式「朝拝御規式(ちょうはいおきしき)」。国王をはじめ王府の役人が御庭に整列し、中国風の厳粛で壮大な儀式を繰り広げます。新年の幕開けを華やかに彩る琉球王国のお正月を、どうぞお楽しみください。

